

サンプル／出題傾向分析表 問題2 一般知識問題

RCCM試験

問題2 一般知識、業務関連法制度等問題

◎は、予想が的中したものです。

2019重点		H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24
◇ 公共土木設計業務等標準委託契約約款		◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
再委託		◎		◎		○		
貸与品		◎				○		
業務委託料の構成	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
著作物、著作権の譲渡			◎				○	
管理技術者			◎				○	
調査職員の有する権限	○			◎				○
解除権の行使	○			◎				○
瑕疵担保	○				○			
履行期間の延長と短縮	○				○			
◇ 公共工事の品質確保の促進に関する法律		◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
品質確保の基本理念	○	◎		◎	◎	◎	◎	○
品質確保の目的	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	
品質確保の発注者責務	○	◎	◎			◎	◎	○
品質確保の発注関係事務				○				
◇ 知的財産権		◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
産業財産権	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
育成者権、回路配置利用権	○			◎	◎	◎	◎	○
◇ 建設コンサルタント技術者の行動規範		◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
事実にもとづく表明	○	◎		◎		◎	◎	○
依頼者の適正な利益の保護	○	◎		◎			◎	○
公正な競争	○		◎	◎	○			
利害相反の回避						○		

サンプル／これだけ択一集 問題2 一般知識問題

◇ 入札方式、発注方式

RCCM2 H28-03 H27-03 H26-03 H24-03

プロポーザル方式、総合評価落札方式の発注方式

- ・発注方式には、プロポーザル方式、総合評価落札方式、価格競争方式の3つがある。
- ・総合評価落札方式（簡易型）における価格点と技術点の割合は 1:1 ～1:3 である。
- ・総合評価落札方式（簡易型）における技術提案は、実施方針だけ提出する。
- ・予定価格の算出において見積を活用する業務は、プロポーザル方式、総合評価落札方式、価格競争方式で発注される。

・プロポーザル方式では、参考見積価格は低価格の順に順位付けを行うが、業務規模と見積価格が大きくかけ離れている場合は、選定から除外される。

・価格競争では、一定の資格・成績等を満たしていると認められるものだけが参加することができる。

RCCM2 H30-04 H29-04 H28-04 H27-03 H27-04 H26-04 H25-03 H24-04

プロポーザル方式、総合評価落札方式の評価

・プロポーザル方式の選定に当たっての評価は、説明書に基づいて行うものとし、説明書に記載されていない技術等は評価の対象としない。

・予定技術者の実績として、技術者資格、同種又は類似業務の実績の内容、過去に担当した業務の成績、手持ち業務（専任性）が評価される。

・選定・指名段階における技術評価では、参加表明者（企業）や予定技術者の「資格・実績等」よりも「成績・表彰」の配点割合を高く評価される。

・同種又は類似業務実績は、担当技術者については評価されるが、企業については入札参加者を指名する段階で評価される。

・参加表明者（企業）よりも、予定技術者の評価が重視されることが一般的である。

d. 総合評価落札方式では、プロポーザル方式に対して技術等の評価の割合が下がるが、技術者の実務経験の長さは評価に影響しない。

．．．．．（中略）